



新型コロナウイルス ワクチン接種体制を整備

7,950万円 を予算可決

2月第1回会議は、2月10日に開かれました。
会議では、新型コロナウイルス感染症に対する住民への予防接種体制を整備するため、一般会計補正予算に関する議案を原案のとおり全会一致で可決しました。



問 町が、保健福祉センターで集団接種を決めた理由と経過は。

健康福祉課長 ワクチンの管理、短期間で可能な限り、多数の方に効率よく接種するために保健福祉センターがいいと考えた。

問 ワクチンは、どういった方が接種するのか。

健康福祉課長 現在、町内の医療機関に了解を得ながら進めている。

問 集団接種計画について、個々に対象者が来てもらう体制は。

健康福祉課長 個々に対しては、接種券を3月中旬に配り会場に来ていただくような形にしたいと思う。

問 集団接種の計画案は。

健康福祉課長 1日200人、接種体制を整えシミュレーションを組んでいる。

問 接種計画について、町民に文書で説明するべきではないか。

健康福祉課長 ワクチンの数がどれだけ入るか分からず、変わってくる状況であり現在検討中である。

問 接種について、国の方針が決まっておらず、日程等について未定であるが、いつ頃はつきりするのか。

健康福祉課長 現在、ワクチンの数がどれだけ入ってくるか未定である。4月以降に高齢者の方が接種できるように、3月中旬に体制を整えたいと考えている。

問 ワクチン接種の基本的な考え方を町民に示していく考えはないのか。

健康福祉課長 決まり次第、お知らせしたいと考えている。

問 ワクチン接種の対象者と、医療協力体制はごままで進んでいるか。

健康福祉課長 65歳以上の方が4,646人、それ以外の方が7,475人、計12,121人で、町内全医療機関に個別訪問をし、ある程度了解を得ている。

問 問診の方法と接種の期間は。

健康福祉課長 町としては、接種券及び予約票を事前に配布したいと考えている。期間は、国で示されていないが町民全員が接種できる体制を整えたいと考えている。

と文言を入れたと考えている。この接種は、強制ではない。努力義務であるので、問診の際に同意が必要となる。

問 集団接種の感染対策は。後に接種を受けた方の対応は。

健康福祉課長 接種会場で検温を行い、コロナウイルス感染の対策は万全を期したいと考えている。主体的には集団接種であるが、個別接種も検討している段階である。

問 接種時の条件や接種を拒否した場合は。

健康福祉課長 接種券を送付の際に、熱のある方は遠慮ください



ワクチン接種の準備が進められている保健福祉センター

2月第1回会議補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	7,950万円	92億6,930万円

1万円未満切り捨て

幼稚園送迎バスの無償化

小中学校スクールバス 全町で運行をスタート

令和3年
定例会
3月会議

幼稚園送迎バス スクールバス運行事業



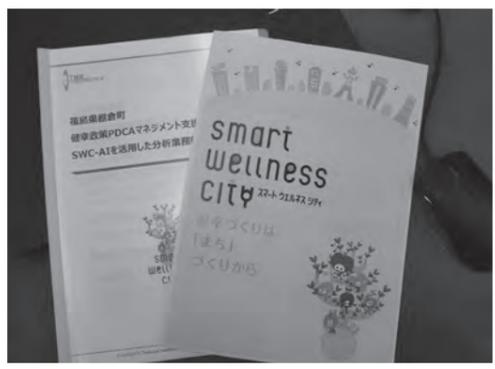
幼稚園送迎バスの無償化・小中学校の
全町的なスクールバスの運行

一般会計

令和3年度に
新たに行う
主な事業です。



健康増進事業



「健幸政策A1」を活用し、
生活習慣病や重症化の予防

ICT教育推進事業



小・中学生ICT学習を本格化

主な事業

- ・防災対策事業 ・多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業
- ・ふくしま森林再生事業 ・山本公園整備事業 ・地域交通対策事業
- ・道路メンテナンス補助事業 ・地方創生テレワーク推進事業 など



全町で運行するスクールバス

定例会3月会議は、3月10日から18日まで
の9日間の会議日程で開催されました。
令和3年度当初予算や令和2年度予算の補
正、条例の制定や改正、専決処分報告、追
加議案の人事案件などについて審議し、すべ
て原案のとおり可決・同意されました。
一般質問8名の議員が登壇し、町政をた
だしました。

令和3年度各会計の予算額

(△は減額表示)

会計名	3年度予算	2年度予算	比較			
			増減費	伸び率		
一般会計	63億4,400万円	69億3,000万円	△5億8,600万円	△8.4%		
特別会計	国民健康保険	12億8,774万円	12億9,969万円	△1,195万円	△0.9%	
	後期高齢者医療	1億4,831万円	1億4,101万円	730万円	105.1%	
	介護保険	15億1,286万円	14億8,935万円	2,351万円	101.5%	
	簡易水道事業	3,470万円	3,757万円	△287万円	△0.76%	
	公共下水道事業	3億3,553万円	3億6,837万円	△3,284万円	△8.9%	
	農業集落排水事業	1億9,220万円	8,870万円	1億350万円	216.6%	
	霊園整備事業	196万円	64万円	132万円	306.2%	
上水道事業会計	収益的収支	収入	3億8,655万円	3億7,966万円	689万円	101.8%
		支出	3億3,994万円	3億4,316万円	△322万円	△0.9%
	資本的収支	収入	1億9,123万円	1億9,499万円	△376万円	△1.9%
		支出	3億3,716万円	3億3,922万円	△206万円	△0.6%

(1万円未満切捨て)

予算特別 委員会

令和3年度各会計当初予算の審議は、予算特別委員会が設置され2日間にわたり慎重に審議されました。



一般会計

質問 国有資産等所在市町村交付金の内訳は。

答弁 福島県47万2,900円、福島中央裁判所5万9,700円、森林管理署1,715万2,600円、予算合計1,768万5,000円。

質問 原動機付自転車、二輪小型自動車等の台数の内訳は。

答弁 原動機付自転車479台、軽自動車二輪車185台、四輪車5,117台、小型特殊869台、二輪小型自動車351台。

質問 町の予算が前年比で5億8千万円少ない予算編成はどのような考えか。

答弁 震災復興特別交付税関連事業の減少によるため。

質問 たばこ税が増えている理由は。

答弁 令和3年10月1日から値上げされるため。

質問 1件当たりの補助率は。1件15万円を予算計上。

答弁 1件15万円を予算計上。

質問 国、県の補助は。30万円、町は15万円を助成。

答弁 県の助成事業1回当たり30万円、町は15万円を助成。

質問 物産振興会業務の今後は。業務を行う。業務内容は、検討して決めていきたい。

答弁 商工会に事務局を置いて業務を行う。業務内容は、検討して決めていきたい。

質問 有害鳥獣駆除費が減っているが来年度の活動は。

答弁 有害鳥獣駆除費が減っているが来年度の活動は、期間中の捕獲50頭、電気柵の購入を計上。

質問 多面的機能支払事業の団体数が減った理由と今後の対策は。

答弁 18団体から15団体に減少。事務量に比べると補助金が少ないこと、中山間事業に移行したこと、後継者の問題があり脱退した。

質問 寄附金が増えている理由は。ふるさと納税が増えているため。

質問 スポーツ振興くじ助成金はいつまでか。

答弁 令和3年で終了する。

質問 ルネサンス棚倉目的外建物使用料の減額理由と利用状況は。

答弁 厨房施設を改修し、食品加工施設が行政財産であるため、390万円を減額。4件の使用があったが、各団体にPRしながら利用促進に努めていきたい。

質問 森林再生事業費の事業量は。

答弁 100ヘクタールを予定。

質問 財政調整基金の残高は。

答弁 令和2年度末、8億5,780万円となる見込み。

質問 地方創生テレワーク推進事業費の整備は。

答弁 ルネサンス棚倉の施設のみで考えている。

質問 山本キャンプ場内に考えてみては。

答弁 山本公園整備事業の中で、

光回線など対応していきたいと考えている。

質問 ルネサンス棚倉費の委託料、貸付金は。

答弁 貸付金は、令和3年度2,000万円、委託料は6,000万円。

質問 街路灯のLED化事業によって、電気料金はどのくらい削減されるのか。

答弁 電気料約700万円、LED化により約半分弱ぐらいとなる見込み。

質問 防犯灯設置の行政区長からの要望は。

答弁 2年度申請の新規30件、繰越し11件、そのうち19件を設置。

質問 タクシー利用券は、遠隔地の方々の配布枚数は加味されているのか。

答弁 地域区別なく48枚を配布する予定。

質問 老人クラブに対する補助金は。

答弁 老人クラブ連合会に150万円の助成、単位老人クラブ19団体に73万9,200円を予算計上。

質問 道路維持費の予算削減の理由は。

答弁 側溝堆積物撤去の処理業務事業が終了したため。

質問 文化センター大規模改修の考えは。

答弁 計画等を煮詰め、長いスパンで段階的に改修していく。

質問 幼稚園広域利用施設の給付事業の利用者の人数は。

答弁 2名が利用予定。

質問 ICT教育推進事業の業務はどのような方が携わるのか。

答弁 子ども教育課に在籍しているICT支援員にお願いしたい。

質問 特定不妊治療費の助成事業は。

答弁 治療費2件を計上。

質問 子宮頸がん接種の町の考えは。

答弁 国で対応が変わってきており、国の指示に従い、対応したいと考えている。

質問 ダムからの取水と井戸からの取水の割合は。

答弁 堀川ダムから1日3,000トン、井戸から5000トン、1日3,500トンで計画。

質問 国が定める公定価格、保育料を積み上げたものを予算化しており、足りるものと思っている。

答弁 国が定める公定価格、保育料を積み上げたものを予算化しており、足りるものと思っている。

質問 ひとり親家庭医療費の人数の見込みは。

答弁 146世帯を考えている。

質問 年度途中での保育園入園の対応は。

答弁 保護者の就労もあるので、入園は可能。

質問 保育園の運営費は、予算計上で十分であるか。

答弁 国が定める公定価格、保育料を積み上げたものを予算化しており、足りるものと思っている。

質問 国で対応が変わってきており、国の指示に従い、対応したいと考えている。

答弁 国で対応が変わってきており、国の指示に従い、対応したいと考えている。

質問 多面的機能支払事業の団体数が減った理由と今後の対策は。

答弁 18団体から15団体に減少。事務量に比べると補助金が少ないこと、中山間事業に移行したこと、後継者の問題があり脱退した。

質問 河川管理費の内容は。

答弁 馬場排水路河川補修工事、車堀川等の河川改修工事を計上。



特別会計

国民健康保険特別会計

質問 国保健指導事業費の大幅な増額の要因は。

答弁 健康政策にA-1関係の事業費が計上されたことによるため。

質問 前年比保険税が減額となった理由と国保加入者の人数は。

答弁 県の事業費の負担金が減額となったため。被保険者は、前年比約130人減少の見込みである。

質問 滞納額と滞納状況は。マイナンバーへの統合の状況は。

答弁 元年度分の徴収率は、おおむね95%前後で推移、2,452万1千を滞納額として見込み、滞納分の徴収率は44.9%、1,109万円を予算計上。マイナンバーカードは、今月末から保険証の利用に使える予定。

質問 基金の保有額はいくらか。

答弁 基金残高は、9,668

霊園整備事業特別会計

質問 墓地230区画の所有者の町内と町外の数と返還となった購入の手順は。

答弁 町内192名、町外38名。更地にして返還。順番待ちの名簿の最上位の方に案内している。

介護保険特別会計

質問 保険料の滞納額と徴収の方法は。

答弁 当初予算で339万円、徴収見込率30.25%、102万5千円を計上。税法に基づいて、税務課で徴収している。

質問 滞納額全体を目標とするのではないのか。その根拠は。

答弁 収入として見込める額を計上している。

質問 一般介護予防事業費の活動状況と推移は。

答弁 高齢者サロン事業を15地区で開催、人数は年々増えている。

質問 介護認定調査の人員確保の考えは。

答弁 町職員、会計年度任用職

員1名を雇い対応。新規は町で調査、それ以外の区分変更は、各事業所に委託している。

質問 保険料増額の見込み人数は。

答弁 現年度分の特別徴収保険料が4,033人、普通徴収304人を見込んでいる。

簡易水道事業特別会計

質問 水質管理の委託先は。

答弁 新環境分析センターに委託している。

公共下水道事業特別会計

質問 下水道の加入率は。

答弁 令和元年度で62.25%

質問 加入率が上がらない状況にあるが、何か手立てをしているのか。

答弁 広報紙に年3回程度掲載し、事業者へ接続の推進を依頼し、状況に応じ、職員が直接住民の皆さんにお願している。

農業集落排水事業特別会計

質問 排水事業費が、大幅に増えているが、主な内容は。

答弁 農業集落排水処理場、真空ポンプステーションの機械設備機能強化更新事業を実施するため。

上水道事業会計

質問 給水人口、給水戸数、年間給水量は前年度と比較して増減等はあるのか。

答弁 給水人口は、対前年比173人の減、給水戸数は28戸の増、年間給水量は1万5,330トンの増、1日42トンの増加している。



当初予算採決の状況

反対 鈴木 政夫議員

令和3年度一般会計予算案に反対の立場で討論を行います。

まず、歳入歳出の総額は63億4,400万円で、前年対比5億8,600万円の減額となっております。今、世界中がコロナ禍の中で不安を強いられている中です。棚倉町も例外ではありません。町民に対する真意が強く求められております。そうした中で大幅な予算の減額には大きな疑問を抱かざるを得ません。

具体的には、タクシー利用券や学校給食費の助成など始めたことは大きな意義を持っているというふうに思いますけれども、その内容が中途半端、あるいは不十分なままで、極めて残念であります。

また、ふくしま森林再生事業は山林所有者にとって極めて有利な事業であります。町の取組は極めて消極的と言わなければなりません。町の来年度予算

賛成12名

は7,000万円。なお、埴町は2億7,000万円、矢祭町は1億円の来年度予算でありますが、事業の中身が必ずしも同じとは限らず、単純な比較はできませんが、棚倉町の取組は極めて立ち後れております。なお、工場誘致に関する予算が46万円1,000円、これにも驚きました。本気になって考えているのかどうか、疑わざるを得ません。ルネサンス棚倉費は前年対比2,200万円の減となっておりますが、3年前から新たに1億円の町費出資をせざるを得ない状況になっておりますけれども、町民にとっては大きな負担であります。そもそも、地方自治体が出資をして会社を運営する時代はもうとつに過ぎております。私は、第3セクターの在り方、解消等も含め、町として真剣に検討すべき時期だというふうには思っております。以上、当面する幾つかの課題の一端を申し上げ、討論いたします。

賛成 和知 裕喜議員

令和3年度棚倉町一般会計予算に対し賛成の立場で討論いたします。

今回の令和3年度棚倉町一般会計予算案については、終止のめどが立たないコロナウイルス感染症の影響により、長期にわたり厳しい経済状況である中で、歳入面では町税全般で大きく減収となり、地方交付税や国・県の補助金、各種基金や地方債などの有利な財源を積極的に確保しております。

一方、歳出面では、通学、通園支援のためのスクールバスや幼稚園送迎バスの全町運行、小・中学校でのICT推進、健やか医療助成や赤ちゃん応援事業など、子育て、教育環境の充実を図っております。また、町内の防犯灯のLED化や消防、防災体制の充実、森林再生事業継続など、町民の安心・安全の強化を目指しているほか、社会資本整備総合交付金などによる町道整備等の事業の継続、農工商の各種産業振興事業、健康推進事業、それぞれの世代を対象とした生涯学習事業の推進を図るなど、各分野における予算をバランスよく確保した内容になっております。したがって、厳しい財政状況はもちろんです、このコロナ禍の中でも町民福祉の向上のため、第6次振興計画に掲げる施策実現を目指しているこの予算案を私は適切なものと考え、賛成の意を表し、討論いたします。

町政を問う

定例会3月会議では8人の議員が登壇し質疑を行いました。
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。
行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。

1 古市泰久 議員 …… 13ページ

1. 防災・減災等に関する対応と対策は
2. 米の需給調整の町の助成は
3. 森林再生事業の実績と今後の施策は

2 藤田智之 議員 …… 14ページ

1. コロナウイルス感染拡大の対応は
2. 消防団活動の見直しは
3. 玉室宗伯謫居跡等の整備、活用は

3 鈴木政夫 議員 …… 15ページ

1. コロナワクチン接種の準備状況は
2. 小京都にふさわしい観光の整備は
3. 台風19号被害からの教訓は

4 佐川裕一 議員 …… 16ページ

1. 町の防災対策は
2. 街路灯への今後の対応は
3. デジタル化推進は

5 大竹盛栄 議員 …… 17ページ

1. 棚倉町防災会議は
2. 交流人口は

6 割栢義夫 議員 …… 18ページ

1. 台風19号による災害復旧・検証は
2. 幼稚園・小学校の今後の運営計画は

7 藤田光子 議員 …… 19ページ

1. 新型コロナ感染予防接種の対策は
2. 複合被害発生の事前対策は
3. 町営住宅の建築計画及び管理は

8 菊池忠二 議員 …… 20ページ

1. 町が管理する都市公園の整備は
2. 大学生への支援、高校生の助成は
3. 成人式と消防団出初式のあり方は



問 町国土強靱化計画策定のメリットは 答 防災減災推進と補助金の活用が有利

問 令和三年度から始める国の防災・減災国土強靱化五ヶ年加速化対策事業の町の対応は。

町長 該当する事業については、町が主体的に事業を実施することになる。

問 町の防災会議の目的と役割は。

町長 町の防災計画を作成し、事業を推進するほか防災に関する重要事項を審議する組織であり、国等の防災計画の変更に伴い、見直しが必要のため開催した。

問 行政区の自主防災組織の設置件数と今後の設立支援対応は。

住民課長 現在十三団体、未設置行政区に対し説明会を開催し早急に設置を働きかける。

問 防災マップの改正内容と全戸配布の時期は。

住民課長 浸水想定区域、各災害への対応、避難所の位置、情報等々分かりやすい内容に改善した

い。令和三年度中に全戸配布の予定である。

問 避難所における新型コロナウイルス感染対策マニュアルは。

住民課長 今年度、マニュアルを作成しており、それに基づき対応していく。

問 新たな避難所として、みりよく満点農産物直売所を加えては。

町長 農協との連携は必要なことだと思っている。避難所として適切か等協議し、考えていきたい。

問 マイタイムライン（個別避難計画）の作成は。

住民課長 今後検討していく。



台風19号被害

問 町独自による飼料米転作助成は

答 一反歩当たり一万四千元助成

問 令和二年度産米の六十キロ平均単価と前年比下落額は。

産業振興課長 コシヒカリで約一万三千円。下落額は千五百円程度となる。

問 主食米作付けの反当たり価格と飼料米等転作の反収比較は。

産業振興課長 主食米で約十六万円。飼料米等で約十二万円となり飼料米転作の方が年収は多いことになる。

問 森林再生事業の八年間の合計実績は

答 十六ヶ所、約三百八十七ヘクタール

問 平成三十年代から三年間の実績は。

町長 九ヶ所で面積が約二百六十六ヘクタールである。

問 令和三年度以降の国の方針と町の対応は。

町長 国の放射物質対策基本方針に基づき、令和三年度から令和七年度まで五年間の事業計画を策定することになる。

問 事業計画の内容は。

産業振興課長 五年間で約四百ヘクタールを予定している。



ふるいちやすひさ 古市泰久

問 ワクチンの接種方法は

答 集団接種と個別接種の両方で対応

問 ワクチン接種の課題と対応は。今後の支援対策事業等の予定は。行政でのテレワークの推進や経済困窮者への対応は。

町長 ワクチンの供給時期や供給量が不明で接種スケジュールが立てられないことが課題。情報把握に努めながら、接種体制整備を進める。保健福祉センターの集団接種と町内医療機関での個別接種の両方で対応する。交通弱者などへの対応は今後検討したい。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が示されたので、今後全庁的に検討し、特に効果的で今後必要な事業を実施したい。本町の業務には個人情報が多数存在し持ち出しやネットでの利用が課題で現在は行っていないが、検討はしたい。個人には県の緊急小口資金の貸付けを事業者には町新型コロナウイルス感染症対策事業者臨時給付金を延べ508件給付した。

問 交付金の規模は。総務課長 約1億2380万円を限度額に予定。



集団接種会場の保健福祉センター

問 限定免許への対応は

答 今年度より費用の8割を助成

問 欠員や高齢化など団員確保に問題はないか。報酬の引上げ及び待遇改善、限定免許への対応は。機能別消防団員制度の導入や団員へのアンケートを実施しては。

町長 定数355人に対し、欠員は24名。平均年齢は32・5歳、県内で一番若い消防団。報酬及び待遇は近隣町村との比較で特段差はないが、今後、国の制度改正等の動向を注視したい。限定免許への対応は今年度より、オートマチック限定解除及び準中型免許取得の費用の8割を助成。機能別消防団員制度は今後協議したい。消防団員の意見は分団会議や役員会を通して集約できていると考えている。

問 消防操法大会への参加方法の見直しは。

住民課長 消防団では選抜の方法も勧めているが、持ち回りの出場班が自から望んでいる状況。

問 謫居跡の整備は

答 場所が特定されていない

問 玉室宗珀謫居跡等の整備、活用は。現在の謫居跡の管理や進



場所が特定されていない謫居跡



藤田智之

入路の整備は。赤館城の歴史をもっと取り上げては。

教育長 京都の大徳寺の玉室宗珀が紫衣事件で、柵倉藩で謫居していた事実を広報し、大徳寺芳春院の住職に歴史イベントに参加頂いた。赤館跡の中世城館跡調査と併せての、発掘調査で謫居跡は特定できていないので、整備の考えはない。今後調査を進め、活用を検討したい。

問 新型コロナウイルスワクチン接種準備状況は

答 町内医療機関に協力いただき準備

問 ワクチン接種の準備状況は。町長 高齢者については4月26日以降の開始を見込んでおり、順次、基礎疾患を有する方、高齢者施設従事者の方、16歳以上の方々へと接種を進めていく予定である。

問 医療従事者の手配は。

町長 町内医療機関の医師と看護師、在宅で資格を有する看護師の協力をいただき、接種体制を準備している。

問 遠隔地の高齢者などの対策は。

町長 交通弱者等への対応は、現在検討している。

問 小京都にふさわしい観光整備は

答 必要な施設整備を図る

問 柵倉地域以外にある歴史、史跡、文化など観光事業に取り組むべきではないか。

町長 町内全域の歴史、史跡などは、貴重な観光資源と考えている。ホームページや観光パンフレットなどに掲載、情報を発信し、観光誘客に努めている。

問 赤館公園、八溝溪谷などの観光資源の開発は。

町長 赤館公園は、国の認定を受けた「柵倉町歴史的風致維持向上計画」に掲げる赤館公園整備事業として、トイレや展望施設など必要な施設整備を図り、町内を眺望することができる魅力的な観光資源として、活用していく。八溝溪谷は、奥久慈県立自然公園に指定されており、現在のところ特別な開発は考えていない。観光資源の開発は、町観光協会などと連携しながら検討していく。

問 歴史資料館建設の考えはあるのか。

町長 現在のところ、歴史資料館を建設する計画はない。

問 なぜ建設する考えにならないのか。

生涯学習課長 必要性を含め、調査、研究していく。



小京都のみどころ（柵倉城跡）

問 台風19号被害からの教訓は

答 柵倉町国土強靱化計画に掲げ取組む

問 被害原因と今後の対策は。町長 気象庁の多くの観測地点で降水量が観測史上一位の値を更



整備が進む社川

新、記録的な大雨となり、12時間で200ミリの豪雨となったことが原因とされている。今後の対策は、柵倉町国土強靱化地域計画に掲げたように、河川改修等の促進や河川災害危険箇所周知に取り組んでいく。

問 川底の掘削に対する国、県への働きかけは。

町長 福島県洪水氾濫の危険性解消のため、社川、久慈川の河道掘削を実施している。掘削要望箇所は、毎年、県南建設事務所との連絡調整会議等において要望している。



鈴木政夫

問 防災対策を問う

答 改訂版防災マップを三年度に配布

問 改訂版防災マップの配布時期と。内容は。

町長 国の補助金を活用し、令和三年度に改訂する予定、年度内には配布したい。主な改定内容は、水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域設定の雨量が想定しうる最大規模の降雨量に変更。その他「自助、共助の取組み」や「避難方法」「避難所における感染症対策」などについても記載したい。



改訂版を配布予定の防災マップ

問 避難所での生活環境で特に気を付ける点は。

町長 長期化する場合は、特にプライバシーの確保や暑さ寒さ対策、食事、避難所におけるルールづくり等。

問 消防団員の充足率と定足数確保に向けての対応は。

町長 定数355人に対し充足率93・2パーセント。定数確保の取組みは、消防団応援事業や消防団協力事業所表示制度を実施。

問 日本郵便株式会社との包括連携協定とは。

町長 本協定は、町と郵便局が、人的・物的資源を有効に活用し、地域の活性化及び住民サービスの向上等を図ることを目的に七項目の連携事項について締結。

問 街路灯への対応を問う

答 事業費の二分の一を補助



老朽化による破損が目立つ街路灯

問 電気料補助の実績は。

町長 事業費の二分の一を補助、昨年度補助額は七十六万八千円。

問 老朽化した街路灯は。

産業振興課長 管理のあり方等、今後の方向性を決めて、十分検討していきたい。

問 デジタル化推進を問う

答 オンライン決済の導入等

問 どのようなことを行っていくのか。

町長 町税や水道料金、手数料等の納付にオンライン決済の導入や健康政策推進のためにAI活用。また、本年度整備した小・中学校のタブレットによりICTによる学習もデジタル化の推進と考えている。

問 住民・職員のメリットは。

町長 町民の利便性の向上を図ることができ、職員においても事務の簡潔化、最適化など効率的な行政運営が図れる。また、マーケティングや広報の改革など産業、観光振興を図れること等。

問 町民の健康管理に向けて人工知能システム導入の内容は。

町長 医療費レセプト、後期高齢者医療、特定健康診査、介護給付データ等の分析を行う等、健康政策の提案や費用対効果測定を行う等、PDCAを構築しながら、健康なまちづくりを推進していく。



佐川 裕一

問 防災センターの建設は

答 備蓄倉庫が災害対応の拠点

問 地域の実情に沿った防災計画の作成を担う防災会議が発足したが、委員の任命はどのように決定したのか。

町長 柵倉町防災会議条例第三条に基づき、指定地方行政機関の職員、福島県内局内の職員など十七名を任命した。

問 一般の町民が一人しか入っていないが、地域の実情に合った計画が出来るのか。

住民課長 有識者として一般の方が入っている事例があるので、調査研究していく。

問 久慈川水系と杜川水系と別々の防災会議の設置の考えは。

住民課長 各河川にある流域治水協議会で対応できると考えている。

問 関係団体との防災訓練などは計画されるのか。

町長 県南地区市町村において、毎年持ち回りで、県南地方総合防

災訓練を実施している。

問 防災センターのような核となる施設を作るべきと思うが。

町長 役場敷地内に災害対応物資、防災、避難箇所関係の物品等を保管する備蓄倉庫を設置し、災害対応の拠点としているので、整備する考えはない。

問 大きな地震により道路が切断されたり、橋が崩落した時、物資を運ぶ想定は。

住民課長 複数のルートを想定している。



防災備蓄倉庫

問 各小学校の空き教室を地区の防災拠点に活用しては。

住民課長 管理等の問題があるので現段階では考えていない。

問 交流人口獲得の施策は

答 第六次振興計画により推進

問 通勤、通学、スポーツ、レジャー、観光と多くの要因があるが、特に観光は官・民が意識と情報を共有することにより、多くの交流人口の獲得が望めると思うが、その施策は。

町長 交流目的に応じた広い施策第六次柵倉町振興計画や第二期柵倉町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる各施策を推進していくことが、交流人口獲得につながるかと考えている。

問 ルネサンス柵倉は観光資源と連携が取れているか。

町長 町の魅力を発信し連携を図っていく。

問 山本公園の整備が、来年度予算に計上されているが、山本不動尊の開山前に、弘法大師が護摩祈禱をしたとされる護摩壇がある。観光拠点になると思うが。

地域創生課長 観光資源としての活用について、検討していきたい。

問 ゴルフ場利用税交付金を、ゴルフ振興に当てるべきと思うが。

総務課長 一般財源として交付されているので、一般財源として有効に活用していく。



弘法大師が護摩祈禱をしたとされる護摩壇跡



大竹 盛栄

問 台風19号による災害復旧・検証は 答 早期復旧に向けて取り組んでいる

問 災害復旧の進捗率、今後の見通しと完了予定は。

町長 公共土木施設では町道2路線全線完了、河川6河川15箇所中、4河川6箇所完了、農地23箇所中、17箇所完了、農業用施設21箇所中、12箇所完了、林道3路線中、2路線完了。早期復旧に向け取り組んでいる。補助災害未済の被災箇所は、護岸流出や資材不足等の理由により、一部を除き完了している。

問 災害後の検証は行っているのか。

町長 災害後の検証については国の補助災害の査定を受ける段階で、被災の原因となった水位までブロック積工にするなどの再度被災を防止するための提案をして、災害復旧事業の採択を受けている。

問 指定されている避難所の見直しは。

町長 防災計画において被災者を滞在させるために必要かつ適正

な規模であること。また、耐震構造であることなどの基準を定めており、体育館や保健福祉センターなど15箇所を指定している。現在のところ見直す考えはない。

問 地域からの被災箇所等の要望の取りこぼしについてこれからの対応は。

整備課長 引き続き行政区からの報告を受けた中で取り組んでいきたい。



復旧が待たれる林道才勝線

問 地域の集会所が避難所に指定され、老朽化や震災で傷んでいると思うが再確認はされているのか。

住民課長 指定の際には各区分長より、地域住民の方が災害時に一時的に避難する場所として承諾を得ている。基本的に施設はその行政区の管理だと認識している。

問 幼稚園・小学校の今後の運営計画は

答 令和4年度から高幼は
柵倉と統合へ

問 学びのあり方検討委員会の現在の活動状況は。

教育長 令和3年度は委員会の開催を4回予定し、学びのあり方や学校の適正規模・適正配置等について検討を行い、教育委員会に報告する。

問 柵倉幼稚園と高野幼稚園の統合が進められ、小学校を含めた町内統合計画の進展について問う。
教育長 令和4年度から柵倉幼稚園に通園することで保護者の意



割栢義夫

思統一された報告があり、今後は、令和4年度の柵倉幼稚園での保育の実施に向け、準備を進めていく。それ以外の統合の検討はしていない。学びのあり方検討委員会で、議論されることになるものと捉えている。



令和4年度より閉園予定の高野幼稚園

問 コロナ感染予防接種の対策は 答 情報把握に努め体制整備を進める

問 接種を受ける手順は。

町長 町が設置するコールセンター等に予約をする。当日は、町から送付されてくる接種券、予約票、その他身分証明書となるものを持参し、受付に提示。問診、接種、健康観察を行い終了となる。

問 接種を受ける場所は。

町長 現在のところ、保健福祉センター又は、町内医療機関。

問 遠隔地域の交通弱者や障害者等への対応は。

町長 現在のところ検討中。

問 接種後、異常をきたした場合。

町長 異変がみられた場合には会場の医師に対応をしてもうごと共に救急搬送ができる体制を整える。

問 受けない方々への対応は。

町長 感染予防効果等に関する情報について流行を防ぐため免疫



待たれるワクチン接種（出典：厚生労働省HP）

獲得の重要性を広く周知していく。

問 災害時の事前準備の周知は

答 チラシ等で住民へ周知
している

問 具体的な対処法とは。

町長 全世帯に配布している防災マップにおいて、土砂災害警戒区域や浸水想定区域、避難所等のほか、非常持出品や災害ごとの対

問 町営住宅の建築計画及び管理は

答 町営住宅長寿命化計画
で整備

問 今後の取り壊し計画と土地返却の予定は。

町長 建物の老朽化などにより取り壊し予定の団地は6団地。そのうち、用途廃止としている2団地については、敷地内の住宅を取り壊し後に借地の返還をする。

問 清戸作に町営住宅用地として取得した土地の現状は。

整備課長 取得した用地の利用については、令和6年の見直しを予定として検討を重ねていく。



町営住宅として取得した土地（清戸作）

問 最近、その周辺でやぶ蚊やタヌキの糞の被害にみまわれ困っているが。

整備課長 タヌキは害獣駆除対象にはなっていないため捕獲が難しいが住民の環境整備、保全を検討する。



藤田光子

定例会・その他会議

会議	開会	閉会	会議日程	傍聴者数	一般質問		
					登壇人数	質問件数	
1月第1回会議	1月6日	1月6日	1	10			
定例会3月会議	3月4日	3月13日	10	42	9	29	
5月第1回会議	5月11日	5月11日	1	2			
定例会6月会議	6月10日	6月12日	3	31	7	25	
7月第1回会議	7月31日	7月31日	1	2			
定例会9月会議	9月23日	9月28日	6	25	7	24	
11月第1回会議	11月26日	11月26日	1	2			
定例会12月会議	12月9日	12月11日	3	15	7	21	
合計				26	129	30	99

提出議案数

	種類		件数
	町長提出	議員提出	
町長提出	条例		26
	予算		34
	決算		9
	専決処分		10
	その他事件		35
合計			114
議員提出	意見書		3
	規則/その他		2
	合計		5



定例会3月会議

委員会等開催状況

区分	委員会	開催日数
常任委員会	総務常任委員会	1
	厚生文教常任委員会	4
	建設経済常任委員会	4
	広報編集常任委員会	12
議会運営委員会		5
予算・決算特別委員会		3
議会全員協議会		7



令和2年に参加した主な研修会等

1/27	福島県町村議会議員研修会	8/27	福島県町村議会正副議長、事務局研修会
2/14	福島県町村議会新人議員研修会	8/28	議員研修会
7/16	福島県・栃木県 県境道路整備関係視察	10/8	福島県町村議会議員研修会

議会の活動状況を報告します

(令和2年1月1日～12月31日)

問 都市公園の管理や点検は
答 事故防止のため年1回点検実施



歴史と共存するまちづくり史跡と公園

問 基本的な公園管理の考え方は。
町長 都市公園法及び条例等の規定に基づき定期点検などの管理を行っている。

問 遊具の更新時期の対応は。
町長 施設の保守点検の結果、使用不可などの判定がなされた遊具については、使用禁止とし、遊具の修繕や撤去及び更新などについて検討している。



時を超えて人々を魅了する赤館公園の景観

問 町で設置した都市公園は何箇所あるのか。
整備課長 7箇所。

問 遊具の充実及び新たな公園の計画などはあるのか。
町長 現在のところ整備のための計画はない。

問 赤館公園の再整備の予定は。
整備課長 歴まち計画の中で整備事業の予定をしている。

問 大学生の補助金の申し込みは、何件か
答 大学生の補助金の申し込みは、何件か
金270件

問 大学生に特化した理由は。
町長 大学生に限定したものはなく、親元を離れ棚倉町外に居住する学生を対象とし、大学生以外にも専門学校生や高校生、予備校生等幅広く対象とした。

問 高校生に交通費の助成の計画はあるのか。
教育長 現在のところ町独自の助成は考えていない。

問 経済的な理由で勉学の機会を妨げないような制度として奨学金があるがこの制度を高校生にも範囲を広げてはどうか。
教育長 本町では、能力があるにもかかわらず、経済的な理由により就学困難と認められる、県内の高等学校に在学し品行が正しく、学術にすぐれ、身体が強健である

問 オンラインで開催した成人式と中止となった出初式の経緯は。
町長 成人式は、新型コロナウイルス感染拡大の可能性を排除できないこと、収束の見通しが立たない中で延期は多方面に迷惑がかかることなどを理由に、急遽、参加者を新成人の代表や恩師の代表等に限定して、オンライン開催という苦渋の判断をした。出初式は規模を縮小し実施する方向でいたが年明け県内において感染者が増加、クラスター発生など、消防団員本人や家族が不安を感じていて、勤務先からも人が集まる場所に行くことを禁止されているなどの意見もあり、消防団と協議し、感染拡大防止のため中止を決定した。

問 成人式と出初式は
答 オンライン開催、感染防止で中止

学生に対して、奨学資金の貸付を実施している。



菊池 忠二

言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

東日本大震災から早いもので十年が経ちました。

その頃、私は東京に住んでいましたが、東京でも今までに経験したことのない揺れを感じたことを今でも覚えています。その後、ニユース等で福島が大変なことになっていると知り、両親との電話で、原発事故のこと、地元や家業のことを聞き、家業を継ぐことを決心し、震災の年の十一月に妻と子供を連れて実家に戻りました。そこで見たのは震災後、活気を失った棚倉町でした。何とか子供の頃に見た、にぎわいや楽しさを取り戻したいと思い、同じ志を持つ若手商店主らと共同店舗としてインターネット通販サイト「奥州棚倉商店」を立ち上げました。老舗ならではの地域密着型サービスとインターネット販売を通じて、遠方の方で近くなりたいが伝わるような運営をし、棚倉町全体の盛り上がり、活性化に繋げていきたいとの思いです。現在、新型コロナウイルスという大きな問題に直面し、飲食店をはじめ、個人商店に大打撃を与えています。町長さんをはじめ議員の皆さんには震災から十年、そして新型コロナウイルスという難しい問題は多々ありますが、リーダーシップを発揮して頂いて棚倉町を進めて頂きたいと思えます。

新町にお住まいの
和田 浩志さん



新町にお住まいの
伊藤 敦さん



新型コロナウイルスの騒ぎが始まって一年が経ってしまいました。この一年、緊急事態宣言の発出もあり、様々なイベント事（法事慶事含め）も感染拡大防止の為、制限付きの開催だったり中止だったり、今まで経験したことのない一年でした。例年通りのありがたさ、当たり前が当たり前ではない時世において、アイデアや柔軟性が問われる一年だったと感じています。

棚倉町においては、給付金やマスクの配布等いち早い対応に深く感謝しております。そんな一年で思ったことがあります。それは、コロナのせいにして中止（やらないこと）や必要以上の制限があったのではないかとということです。感染防止はやり過ぎ、しすぎることはありません。しかし、「過ぎたるは及ばざるが如し」でやり過ぎた感染対策により新型コロナウイルスに感染しなくても、心の健康が脅かされたり、どこかに歪が生じてしまうのではないのでしょうか。未知のウイルスに対して的確な判断は大変難しいと思いますが、地域の現状に合わせたバランスを伴った判断力で決断する勇気が大切だと思います。我々は、身近に感染者が出て、感染拡大を最小限に止めてきているという成功体験を誇りに、これからも感染拡大防止に努めていきたいと思えます。

あなたも議会を傍聴しませんか



傍聴の手続きは役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

●定例会 6月会議日程のお知らせ (予定)

正式日程は、6月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

6月9日(水) 開会・本会議

6月10日(木) 一般質問

6月11日(金) 一般質問・閉会

編集後記

新型コロナウイルス感染症の終息が中々見えない状況です。町では、ワクチンの接種方法については、集団接種と個別接種の二つの方法で実施します。集団接種は保健福祉センターで、個別接種は町内の医療機関で行い、接種費用は無料で、本人が集団接種か個別接種かを選択します。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐのには、ルールを守りみんなが努力を重ねていくことが、肝要であり、緊張感を持って行動しましょう。

(ガマン・ガマンである)

広報編集常任委員会

委員長 近藤 正光

広報編集常任委員会

- 委員長 近藤 正光
- 副委員長 割栢 義夫
- 委員 佐藤 喜一
- 委員 藤田 智之
- 委員 鈴木 政夫